

令和7年度 武蔵野市特定非営利活動法人補助金交付事業報告シート

団 体 名	特定非営利活動法人モンキーマジック
アドレス（HP、X、FB等）	https://www.monkeymagic.or.jp/
事業の名称	モンキッズ ～交流型クライミングイベント～
事業の目標	目的：本事業の目的は障害児と健常児のクライミングを通じた「交流」である。教科初頭の知識に留まらず、実際に一緒にクライミングをすることで、助ける・助けられるの関係ではなく「クライミング仲間」になってもらうきっかけづくりを行い、相互理解、多様性を育みたい。 目標：武蔵野市内での周知を強化し、5か月で50名の参加
事業の内容（概要） いつ、どこで、誰に、何を、どうした	<u>いつ</u>：2025年11月から2026年3月まで月に1回（合計5回）・週末午前中開催 <u>どこ</u>：三鷹ジム（武蔵野市三鷹）・エバーフリー（新宿区四ツ谷） <u>何を・どのように</u>：「モンキッズ」は、「クライミングを通じて仲間になろう」をテーマに障害のある子どもとない子どもがクライミングを通じて仲間になるイベントで2024年7月から月に1回開催している。障害のある子は視覚障害の子どもが多く、プログラムには目隠しをして登る体験、見えない人たちのクライミングを含めたガイドの方法の学び、仲間づくりを目的としてグループワークを意図的に取り入れた。 <u>誰を対象に</u>：対象は小学4年生～中学3生の障害のある子どもと健常児。クライミング経験があってもなくても参加できる。
事業の成果（参加人数、実施回数、質など具体的に記入。）	<u>実施回数</u>：5回／<u>参加人数</u>：述べ33人（内、障害児11名） ■周知・新規参加者の獲得：市報での告知、コミセンへのチラシ配布、その他別途成城大学附属小学校へのチラシ配布等。新規での参加は2名（市報・チラシ以外）。→苦戦。周知からの参加者獲得ができていない ■子どもたちの変化：片手指欠損と知的障害のある中学生が毎月欠かさず参加。「怖い」と言っていたがグループでの対抗戦では怖さも忘れて頑張っている。彼女や視覚障害の子どもたちへの自然なサポートが見られる。不登校の子どもが生き生きして毎回参加。保護より「毎回楽しみにしている」「ボルダリングを始めて失敗しても何度でもやり直せることを学んでいる」。参加人数が少ない時は「弱視体験」「手話チャレンジ」を行った。
目標の達成度 （自己評価）	☐1. 達成できた ☐3. あまり達成できなかった ☒2. ある程度達成できた ☐4. 達成できなかった

令和7年度 武蔵野市特定非営利活動法人補助金交付事業報告シート

自己評価の理由 ※公益性の増進、団体の発展性、実効性、補助金を除く資金調達の達成度などについて、具体的に記入。	継続から参加している子どもたちの「障害の有無を超えた仲間意識」「障害理解」「頑張る気持ち」が育まれている。また、お陰様で多くの方から「良い事業」と評価いただいている。公益性は高い。 一方、参加者が増えない。武蔵野市界隈で紙媒体での情報拡散を優先的に行った。そこからの参加者は増えなかった。情報を届けられれば参加できるのかということそうではないことが今回よく分かった。それが分かったことは大きな収穫。
今後の課題・抱負	公益性は高く、他の団体では行えない事業であるが、①参加者の獲得と②資金調達、また活動における③スタッフの質の担保が課題。①については苦戦しているが、ボルダリングイベントとの協働や学校での講演などでの周知を行ってみたい。②は民間の助成金を申請済み。③は法人内で課題意識をもって行っていきたい。

活動状況について

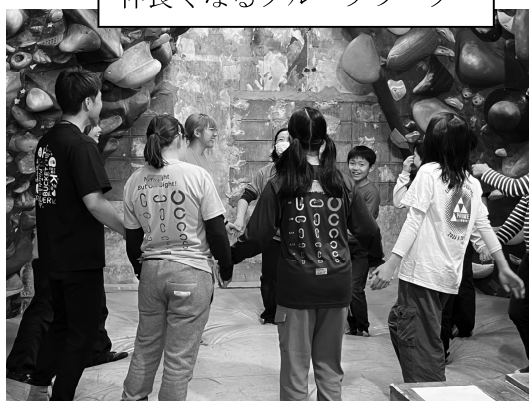
集合写真



アイマスクして登る体験、ガイドする体験



遊びを取り入れた仲良くなるグループワーク



見えない友達のサポート

